

新 地域振興計画

長期ビジョンで描いた将来像に向かって、4つの広域振興局ごとに地域の資源や特性をいかして地域振興を推進していくため、地域の実情を踏まえた将来像を描き、それを実現するための今後（平成27年4月から平成31年3月まで）の重点的な方策を示しています。

1 地域の将来像

山城地域振興計画

豊かな自然と文化をいかし、
一人ひとりが安心とにぎわいを
実感できる希望の山城づくり

- ①一人ひとりが支え合い、だれもが安心して暮らせる地域
- ②思いやりにあふれ、だれもがいいきと活躍できる地域
- ③人・もの・情報の交流が盛んな、にぎわいを実感できる地域

南丹地域振興計画

京都丹波の資源をいかす^{たから}
交流・活力の森の京都

- ①互いに支え合い、みんなで作るいきいきと暮らせる「京都丹波」
- ②技や知恵が輝き、ひと足のばしですぐに手が届く「京都丹波」
- ③地域資源や特性・強みをいかし、若い世代が定住できる農林業のステップアップと新たな産業興しを行う「京都丹波」
- ④様々な交流があり、だれもが安心・安全・快適に暮らせる「京都丹波」

中丹地域振興計画

関西広域交流時代の
「みやこ」をめざして

豊かな自然と先端産業が共存する特性をいかし、磨きながら、中丹地域に住む人々にとって、この地域こそが輝かしい「みやこ」であると思えるような地域づくりを進めます。

また、関西北部・日本海側の活性化の原動力となり、国際的に人・文化・産業・情報が交流する「みやこ」となることをめざします。

丹後地域振興計画

「交流」と「共感」による
「美しく元気な丹後」の実現

交流人口の増加による地域活性化、織物業や機械金属業をはじめとする地域基幹産業の振興、「食」を生み出す農林水産業の一層の発展により、活力ある地域をつくるとともに、未来を担う若者が地域に誇りと愛着を持ち、子どもから高齢者までだれもが安心していきいきと暮らせる元気な地域をめざします。

2 「みやこ構想」・「3つの京都プロジェクト」との連携

地域の個性や資源を活かして「みやこ」として輝くことをめざす「みやこ構想」や海、森、お茶といった広域振興のまちづくりコンセプトを明確にし、さらに広域的なエリアでの取組に拡大することをめざす「3つの京都」プロジェクトについては、4つの地域振興計画の主要プロジェクトに位置付け、それらを推進するために、市町村や民間団体とともに一体的に展開し、地域の力を結集・発揮することで府内全域の活性化につなげていきます。

連携イメージ

地域振興計画
主要プロジェクト

地域振興計画
主要プロジェクト

3つの京都プロジェクト

みやこ構想

みやこ構想

山城地域振興計画

～豊かな自然と文化をいかし、一人ひとりが安心とにぎわいを実感できる希望の山城づくり～

1 山城地域の特性

山城地域は、乙訓地域や山城中部地域のように都市的な人口構造を有する地域、関西文化学術研究都市とその周辺のように若年人口の増加が見込める地域がある一方、相楽東部地域のように人口減少が進む地域も併存しています。

また、全国的に有名な宇治茶や品質の高いタケノコ、都市近郊における野菜の生産地であるとともに、関西文化学術研究都市、ものづくり企業、様々な歴史的文化遺産等、多種多様な特色があり、関西の交通の結節点として整備が進んでいる、大きなポテンシャルを持つ地域です。



2 施策の基本方向と主な数値目標

施策の基本方向

① 府民の暮らしを支える安心・安全の確保

平成 24 年 8 月の南部豪雨、平成 25 年 9 月の台風 18 号の災害に見舞われ、近年多発する集中豪雨を見据えた総合的な治水対策や行政・住民連携による地域防災力の向上等により、ハード、ソフト両面からの総合的な防災対策を推進します。また、新型インフルエンザ等緊急の健康危機に強い体制づくりを進めます。



防災訓練

② 地域の活性化と交流を進める交通基盤など社会基盤整備の推進

山城地域の明日を切りひらく広域交通基盤の整備や高速道路へのアクセス道路及び JR 奈良線の高速化・複線化にあわせた道路等、域内連携基盤の整備等を推進します。



新名神・八幡 JCT・IC(仮称) 付近

③ 「お茶の京都」等による、農林業や中小企業など地域を支える産業振興と新たな観光、地域交流の推進

お茶による文化・産業・観光の振興、地域活性化等を目的とした「お茶の京都」づくりや、豊富な観光資源の魅力を高める「やましろ観光」を展開するとともに、利便性の高まる地域の特徴を PR するとともに、企業誘致を積極的に進め、中小企業を支援します。

また、安心・安全で新鮮な農産物の生産・供給体制の強化、「ブランド京野菜」の産地づくり、6次産業化による新たな農業ビジネスの展開を進めるとともに、「命の里」づくりや空き家への移住促進等による地域再生の取組を進めます。



茶摘み体験



企業の集積

④ 少子・高齢化への戦略的対応と生涯健康づくり

少子・高齢化に対応するため、思春期・青年期からの意識改革や結婚支援をはじめ、安心して出産や子育てができる環境づくりの取組と、若い世代がこの地域で生活し続けられるよう、「職住近接」や妊娠・出産・子育て期に働きやすい雇用の場を創出するとともに、地域の魅力を高める取組を戦略的に進めます。

また、地域の子育て支援、児童虐待の防止、障害のある人の地域生活支援、自殺予防対策等により子どもや高齢者、障害のある人をはじめ、だれもが安心して暮らせる地域づくりを推進します。



子育て支援の取組

⑤ 地域文化の継承・発展と環境保全、郷土を愛し、世界にはばたく子どもの育成

東京オリンピック・パラリンピックに向け「やましろ文化交流圏」づくりを進めるとともに、スポーツ交流による地域振興、多様な特性に応じた環境保全等に取り組むとともに、社会総がかりで子どもを育てる環境づくり、伝統文化や地域産業等の山城の地域資源をいかした教育を推進します。



文化活動の発表の場

主な数値目標

- 災害関連河川の改修率 100% (平成 30 年度末事業進捗率)
- 観光入込客数 1,730 万人、観光消費額 280 億円
- 京やましろ新鮮野菜の年間販売額 3 億円
- 出生数増 500 人以上
- 山城地域で実施される各種文化事業への参加者数 21 万人

地域の特性をいかした施策の展開

管内を、「乙訓地域」、「山城中部地域」、「相楽地域」に大きく区分し、3つの地域ごとにその特性や課題を踏まえ、具体的な施策・方向性を明確にして、地域施策を進めていきます。

3 地域の重点施策・プロジェクト

- 山城にぎわい創造プロジェクト
- 「お茶の京都」づくり【3つの京都プロジェクト】
- 京都乙訓ダイナミックシティーズ構想【みやこ構想】
- 京都イノベーションベルト構想【みやこ構想】
- 学術研究・未来の都構想【みやこ構想】
- 環境・アグリバイオパーク構想【みやこ構想】



農産物直売所
(生産者と消費者の交流)



乙訓の竹林



けいはんなプラザ



京都府立大学精華キャンパス
京都府立大学生命環境学部附属農場

南丹地域振興計画

“京都丹波の資源（たから）をいかす 交流・活力の森の京都”

1 南丹地域の特性

芦生原生林等の緑豊かな自然、小豆・黒大豆等の農林産物、教育・文化・スポーツ・観光等の今ある地域資源と京都縦貫自動車道や大規模スポーツ施設の建設等の新たな交流基盤を最大限にいかし、地域のあらゆる人や団体の力を結集した地域づくりが求められている地域です。



2 施策の基本方向と主な数値目標

施策の基本方向

① 地域資源（たから）をいかした交流と賑わいの森の京都

府域の木材の主生産地の1つである強みを最大限活用し、木質バイオマスの原料素材やエネルギー資源としての新たな地域興し、新たな木材加工の動きを広げるとともに、食による里山のおもてなしや健康づくり、京都丹波の豊かな自然等とスポーツを効果的に結んだスポーツ観光の推進等により、交流や賑わいづくりを進めます。



豊かな森林資源

② だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり

災害や事故等に強い安心・安全で、人権が尊重され、ユニバーサルデザインの考え方が根付いた「住みやすい、住み続けたい」地域にするために、一人ひとりが健康で、持てる力を十分発揮し、互いに支え合うことのできる住民主役の地域づくりをめざすとともに、安心して出産・子育てができ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりを進めます。



目指せ「子育て王国」

③ 地域の活力を支える産業・農林業の振興

企業誘致活動、企業ニーズにあったきめ細かな支援、産業人材育成等により、地域での一層の企業活動の展開を図り、雇用の場の確保、定住促進、地域の活性化を図るとともに、地域コミュニティの担い手等としての商店街・個店づくりや、観光客等を集客できる、歩いて楽しい商店街づくりを進めます。

また、経営力ある新規就農者の育成、「森の京都」の原動力となる森林の担い手育成のほか、安心安全な農産物の安定的供給、新たな特産品の育成等により、農業振興を推進するとともに、社会的弱者の方にも対応した新たな付加価値を生み出すユニバーサル農業（福祉農業）を創造し、ビジネスとして展開します。



地域を支える農林業

④ 安心・安全と交流を支える基盤整備

平成25年9月の台風18号等による甚大な被害を踏まえ、まちづくりと一体となった河川改修を計画的に進めるとともに、災害発生時において必要とされる道路ネットワークを確保すべく整備を推進し、安心・安全な生活を支えます。

また、京都縦貫自動車道の全線開通を契機として、大都市圏へのアクセス道路等の基盤整備を図り、地域産業を支えるとともに地域間の交流を促進します。



完成した畑川ダム

⑤ 「京都丹波」ブランドの国内外への発信

京阪神地域とのアクセス向上や交流基盤整備、またこの地域が持つ豊かな自然環境や景観、優れた食材、郷土文化・伝統芸能・祭りや文化財等の多くの地域資源を「京都丹波」で結び、国内外に情報発信していきます。



京都丹波・写ガール隊女子サッカーアップツアー

主な数値目標

- 観光入込客数 650万人 観光客の1人当たり消費額 2,700円
- 「就業・生活支援センター」と連携して一般就労に結び付いた障害のある人の数 300人
- 農産物直売所の販売金額 20億円
- 土砂災害防止法による土砂災害警戒区域等の指定箇所の割合 100% (平成28年度)
- 道の駅の利用者数 (購買者数・レジカウンター) 330万人

3 地域の重点施策・プロジェクト

「京・里山の挑戦」～交流・活力・安心の京都丹波プロジェクト～

京都丹波の強みをいかして施策を展開するため、オール京都丹波で取り組む重点事業を「京・里山の挑戦プロジェクト10」と位置付けています。



京都丹波ロゴマーク



京・里山のおもてなし
ロゴマーク

- ①「森の京都」推進プロジェクト
- ②養生の里プロジェクト
- ③京都丹波まるごとスタジアム化プロジェクト
- ④ストップ少子化京都丹波プロジェクト
- ⑤健康長寿の京都丹波づくりプロジェクト
- ⑥京都丹波の強みをいかしたものづくり
産業拠点づくりプロジェクト
- ⑦農商工連携を軸とした
「めざせ年商1億円プレイヤー」プロジェクト
- ⑧ユニバーサル農業（福祉農業）創造プロジェクト
- ⑨災害に強い「京都丹波」づくりプロジェクト
- ⑩京都丹波広報戦略プロジェクト

- 京都丹波「食と森の交流の都」
プロジェクト【みやこ構想】
- 新京都伝統工芸ビレッジプロジェクト【みやこ構想】
- 「森の京都」づくり【3つの京都プロジェクト】



芦生原生林



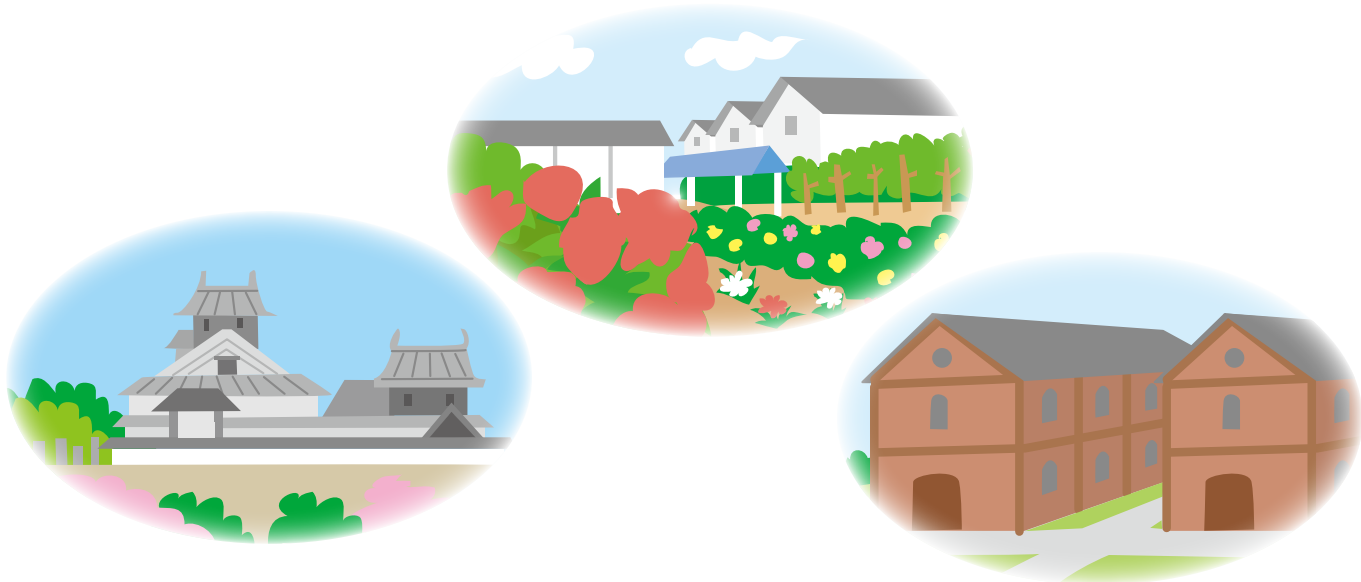
京都新光悦村

中丹地域振興計画

関西広域交流時代の「みやこ」をめざして

1 中丹地域の特性

豊かな自然を背景に、丹波と丹後の個性あふれる生活・文化・経済圏を形成してきました。現在では、多くの企業が集積する複数の工業団地を有するなど、関西北部・日本海側の中核的な地域となっています。さらに、高速道路や京都舞鶴港等のインフラ整備が着実に進んでおり、一層飛躍することが期待されます。



2 施策の基本方向と主な数値目標

展開する施策

① 暮らしの安心・安全の確保

災害を未然に防ぐための基盤整備をはじめ、災害の被害を最小限に抑えるための防災力向上や危機管理体制の強化等、府民の暮らしの安心・安全の確保のための取組を進めます。



災害派遣等運用訓練

② いきいき・健やかに暮らせる環境の整備

地域で安心して子どもを産み・育てることができるための支援充実を図るとともに、整備が進む医療基盤等を活用した医療・介護・福祉体制の充実強化を図るなど、だれもがいきいき・健やかに暮らせる環境の整備を図ります。



母子教室

③ 産業の振興と定住の促進

『森の京都』づくり等の新たな要素も絡めながら農林水産業の振興を図るとともに、地域に根ざす中小企業等の育成、整備された高速道路や京都舞鶴港等の産業基盤をいかした物流拠点の形成、これら産業振興と一体となった定住促進を図ります。



万願寺甘とう

④ 交流人口の獲得・拡大と地域の活性化

京阪神や中京圏はもとより、海外からのクルーズ客船も見据え、市域や府県域を越えた広域観光の推進や、域内外との交流をスムーズにする道路や公共交通機関等の一層の基盤整備、さらには、これらの交流を農村集落の活性化にいかす取組を進めます。



サイクリングイベント

⑤ 共生・協働のまちづくり

個々の人権を尊重しながら、地域の課題を解決するための多様な主体の連携・協働を進めるとともに、郷土を愛し、未来を担う人材を育成するため、地域と連携した質の高い教育を推進します。また、この地域の自然、環境、文化、風土をみんなで守りはぐくみ、後世に伝えていきます。



chu-TAN 地域力再生応援カフェ

主な数値目標

- 由良川治水対策事業と連携する府関連事業の完了件数（累計） 6事業
- 出生数 平成25年比 97人増
- 主な農林水産物の生産額 9億7000万円
- 観光入込客数 400万人 観光客の1人当たり消費額 2,200円
- 自分の夢や目標を持っている子供の割合を増加

3 地域の重点施策・プロジェクト

主な重点施策

国の「由良川緊急治水対策」と連携した
道路・河川の整備推進



【内宮地頭線道路高上げ工事】

再編された基幹的・公的病院の
特徴をいかした医療体制の充実



【市立舞鶴市民病院・舞鶴赤十字病院】

良質なジビエの生産・供給体制の確保
取扱飲食店の拡大



【ジビエ料理（鹿肉を使ったシチュー）】

外航クルーズの誘致拡大と
周遊・滞在観光の推進



【クルーズ客船】

太鼓演奏など地域文化を活用した
おもてなしの展開



【中丹太鼓おもてなし隊「絆」】

地域の主要プロジェクト

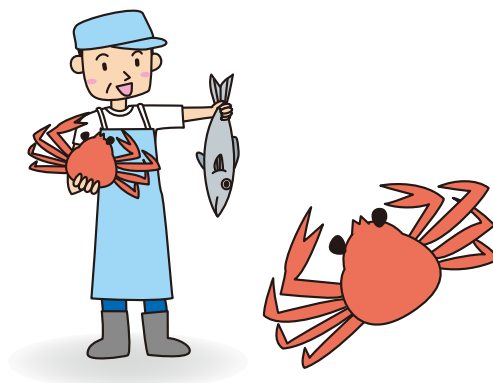
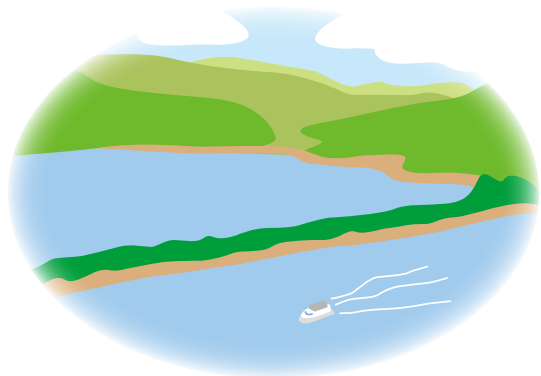
- 京都舞鶴港ランドブリッジ構想【みやこ構想】
- 北京都ものづくり拠点構想【みやこ構想】
- 由良川里山回廊構想【みやこ構想】
- 「海の京都」づくり【3つの京都プロジェクト】
- 「森の京都」づくり【3つの京都プロジェクト】

丹後地域振興計画

～「交流」と「共感」による「美しく元気な丹後」の実現～

1 丹後地域の特性

歴史と伝統に培われた技術をいかした様々な産業が展開されるとともに、海と山等の自然、歴史と文化等、多くの魅力ある地域資源があり、環境、文化、福祉、地域振興等様々な分野で、多くの方々が、いきいきと活動されている地域です。



2 施策の基本方向と主な数値目標

施策の基本方向

① 産業振興による丹後地域の活性化

●丹後地域の活性化を牽引する観光振興

地域資源を「海の京都」の統一したコンセプトのもと、観光資源として磨き上げることによって、国内外から選ばれる国際競争力の高い魅力ある滞在交流型のブランド観光地域をめざします。また、丹後地域の魅力ある「食」の生産力強化や新たな商品開発等に取り組み、さらにブランド力を高めていきます。

●ものづくり産業等地域産業の振興

中小企業の経営安定、成長・発展の支援や、地場産業を担う人材育成や新製品開発の支援等とともに、U・Iターン等により丹後地域に就職（正規雇用）、定着・定住する若者を増やし、地域の経済、産業の活性化を図ります。

② 環境と文化の伝承

丹後地域の美しい海と山、伝統ある町並み等で構成される景観や地域に伝わる文化等を次代に引き継ぐために、総合的な視点で守り育ていかす取組を進めます。

③ 府民生活の安心・安全の確保

●災害対策の強化と安心・安全の構築

過去の経験を超える大規模水害や日本海で発生することが想定される地震による津波、雪害等地域特有の災害等に対処するため、住民の総力を結集した取組を、まちづくりの段階から進め、ソフト・ハード両面から地域の安心・安全を確保します。

●府民安心のまちづくり

年齢や障害の有無にかかわらず、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・福祉の充実を図るとともに、地域の交通安全の確保や悪質商法等による被害防止等暮らしを取り巻く安心・安全を確保します。



「海の京都」の地酒とたからもの巡りツアー



丹後・知恵のものづくりパーク



山陰海岸ジオパークスポット「立岩」



観光施設での避難訓練



府立医科大学附属北部医療センター

④ 府民がいきいきと暮らせる地域づくり

市町とも連携して、様々な人権問題の解決に向けて取り組むとともに、地域力再生活動の推進等行政やNPO、住民が連携・協働した取組や若者が誇りと愛着を持って暮らせる取組を通じて、地域を活性化します。

また、公共交通機関や地域内道路の利便性向上を図り、交流の基盤整備を進めます。



京都丹後鉄道「丹後くろまつ号」

主な数値目標

- 観光入込客数 660万人 観光客の1人当たり消費額 6,000円
- 「丹後・知恵のものづくりパーク」における技術相談や人材育成を通じた企業支援件数 7,000件
- 土砂災害防止法による土砂災害警戒区域等の指定箇所の割合 100%
- 認知症サポーター養成数 13,000人
- 丹後地域へのU・Iターン就業者数 120人

3 地域の重点施策・プロジェクト

「海の京都」推進プロジェクト



久美浜湾とかぶと山



伊根の舟屋

「海の京都」構想により各地域で「食」「自然環境」「歴史・文化」「町並み整備」等様々な視点から進められる観光まちづくり事業を関係団体とともに横断的に支援し、魅力あるブランド観光地域を形成します。

新丹後ブランド創出プロジェクト



丹後ちりめん



和装小物

「TOMORROW丹後」プロジェクト



「丹後・食の王国 食と文化の祭典」への高校生参画

丹後健康長寿プロジェクト



健康づくりの取組

少子化総合対策プロジェクト



子育て支援団体による活動



京都府

平成27年3月発行

「明日の京都」に関するお問い合わせ先

京都府 政策企画部 計画推進課

TEL.075-414-4351 FAX.075-414-4389

「明日の京都」web サイト

<http://www.pref.kyoto.jp/asunokiyoto/>